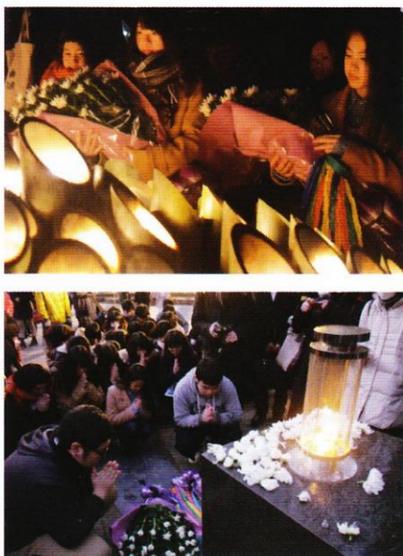


阪神・淡路大震災から二十年目の慰霊の日

「とらすとK」からの報告

「一・一七のつどい」(神戸市東遊園地)



全校生・全職員で折った千羽鶴とお花をお供えました。

なごみ茶屋 (HAT神戸八番館集会所)

(生徒の感想より抜粋)

「とらすとK」の活動が
全国ネットで紹介されました!
NHKラジオ第一
復興支援プロジェクト
「もっとながるお便りラジオ」
「被災地からあなたへ」
一月十七日(土)午後七時二十五分
八時五十五分

「一・一七のつどい」に参加させていただいたことは、とても貴重な経験になったと思います。私達は震災を経験していない世代、だからこそ参加し、その場の雰囲気を感じることに意味があると思えました。つどいの場には、遺影を抱いた方、涙を流す方、灯りを静かに眺める方など様々な方がいました。どの方にも震災から二十年の時を振り返り、こみ上げるものがあつたと思います。現在、街並みはきれいに復興しています。だからといって、被災者の心のケアが出来たかと言えばそうではありません。被災者の心の霧は一生晴れることはないと思います。しかし、その心の重みを少しでも軽くすることはできると思います。そう願ってこれからも「とらすとK」の活動に取り組んでいきたいと思えました。

災害復興住宅の立ち並ぶHAT神戸の集会所で、お茶会を開きました。想像以上にたくさんの方が来てくださって嬉しかったです。「〇〇君おる?」「〇〇ちゃん来てる?」と声かけてくださり、この日を心待ちにしてくれていたのが伝わってきました。私の文通相手のNさんも来てくれました。いろいろな病気になるって手術もたくさんしているので心配をし

ていたのですが、とても元気そうでした。震災二十年目について「一月十七日がくると思ひ出す。」と言っていました。「神戸は変わってしまった。」とも言っていました。二十一年というのは、被災者にとって辛く長い年月だったのだと感じました。帰る時には、握手をして「また会おう!」「今日は楽しかった。ありがとう。」と言ってくくださり、笑顔を見せてくださいました。神戸の皆さん、また元気で会いたいです。

一九九五年一月十七日午前五時四十六分
阪神・淡路大震災
命 仕事 団欒 街並み 思い出
・・・たった一秒先が予見できない
人間の限界・・・
震災が残してくれたもの
やさしさ思いやり絆仲間
この灯りは
奪われた すべてのいのちと
生き残ったわたしたちの思いを
むすびつなぐ
「一・一七希望の灯り」碑文より

被災者の心のケアが出来たかと言えそうではありませぬ。被災者の心の霧は一生晴れることはないと思ひます。しかし、その心の重みを少しでも軽くすることはできると思ひます。そう願つてこれからも「とらすとK」の活動に取り組んでいきたいと思ひました。



「一・一七のつどい」に参加したり「なごみ茶屋」でお話をしたりすることができ、文通相手の皆さんの気持ちに少し寄り添えた気がします。今回の経験をきっかけに、もっと被災地への理解を深め、先輩達から受け継いだ信頼関係をさらに深めていきたいと思ひました。

書道パフォーマンス 書道部

12月6日、国営讃岐まんのう公園で開催されたウィンターファンタジーのイベントで書道パフォーマンスを披露しました。今回は人と人との繋がりをテーマにして演技を行いました。寒空でのパフォーマンスでしたが、来園された方たちの温かい声援の中で楽しく、思いっきり演技をすることができました。今後も書道を通じて地域の方々との交流を深めたいと思っています。



吹奏楽部コンサート 吹奏楽部

琴平高校芸術祭ACTことひら展の一環として琴平文化会館で2月8日(日)にコンサートを行いました。このコンサートは、昨年よりはじまり、今年で二回目となります。琴高生だけでなく、地域の方々がたくさん聴きにきて下さり、とても励みとなりました。二時間弱のコンサートはあっという間に過ぎ、温かい拍手とともに無事終えることができました。ありがとうございました。



金刀比羅宮例大祭 郷土芸能同好会

郷土芸能同好会が『金刀比羅宮例大祭』にて、地域の方々との交流を深められるようにとの思いを込めて、「こんびら船々」等の踊りを披露しました。4月に入部した1年生はより元気に、練習を重ねてきた2年生はより堂々と舞台上に立ちます。地元の皆さんにあたたかい拍手で迎えられ、楽しく踊ることができました。



琴平高校芸術祭 ACTことひら

1月4日、茶華道部のお茶会で琴平高校芸術祭が始まりました。1月5日(月)〜30日(金)の日程で、写真部、家庭部、茶華道部、美術部、書道部の展示が行われました。1月24日(土)には吹奏楽部が公演を行いました。また、琴平高校芸術祭の一環として、吹奏楽部が2月8日(日)に琴平文化会館で演奏会を開きました。



こんびらライオンズクラブ主催 満濃池健康マラソン大会

平成26年12月21日に毎年恒例の満濃池健康マラソンが開催され、琴平高校生が選手や運営スタッフのボランティアとして参加しました。健康マラソンという名前のとおり、アットホームな雰囲気での元々の方々の交流も図れています。今年は運動部(野球、サッカー、バレー、テニス)男子60名余りが選手として参加し、野球部マネージャーと女子バレー部員がボランティアスタッフとして活躍しました。



奉饌供進の儀 剣道部

10月1日に行われた金刀比羅宮の氏子祭りに際し、剣道部が金刀比羅宮本宮へ御神饌を奉献しました。特別な装束をまとい、緊張感漂う厳粛な雰囲気の中で役割を果たすことができました。体力的にも精神的にも大変な仕事でしたが、伝統ある氏子祭りの力になれてうれしく思います。今後も地域の方々にも少しでも貢献できるように稽古や学校生活に努めていきます。



ボランティア交流 野球部

2月3日(火)、野球部員が金刀比羅宮の節分祭に向けて、表参道から大門にかけての参道を中心に、石灯籠を拭いたり、ゴミ拾いや草抜きなどの清掃活動を行いました。その後、御本宮での節分祭にも参加し、「こんびらさんの福豆」を頂き、地域の一員としての自覚を強めることができました。



○小中高合同サッカー大会

1月5日(月)、いこいの郷で小学生(エスポワール琴平)、中学生(琴中サッカー部)と本校サッカー部が合同でサッカー大会を実施しました。1つのシュート得点で小学生の低学年ほど得点率が高いので、バスを小学生に集めて!!晴天に恵まれて元気に楽しく過ごせました。



地域で学び、地域で育つ琴高生